

令和5(2023)年度栃木県普及指導活動外部評価結果

1. 評価

事務所名	芳賀農業振興事務所			
評価対象事例名	いちご100年産地につなぐ担い手の確保と生産力の安定強化 (品種毎の生産性向上、生産基盤の安定・強化)			
項目	視 点	評 価		
		A	B	C
取組の背景・ねらい	①現状や問題についての分析は十分か	4	2	0
	②問題点に対し、適切な課題が設定できているか	3	3	0
	③施策に合わせた目標を設定しているか	3	3	0
活動対象・活動の内容	④活動対象の選定は適切か	2	4	0
	⑤課題や活動対象に対し、活動方法は適切か	3	3	0
	⑥市町・JA等関係機関や試験研究機関との連携は図られているか	5	1	0
	⑦活動は計画的かつ効率的に実施されているか	4	2	0
	⑧農業者との信頼関係を築き、普及活動を行っているか	5	1	0
活動の成果・今後の対応策	⑨実績に対する要因分析がされているか	1	5	0
	⑩残された課題について検討されているか	3	3	0

(1) 評価項目は、各項目の視点に基づき評価する。

(2) 評価基準は、消費者視点も踏まえた上で、以下の3段階とする。

A: 良好である B: 普通である C: 不良である

(3) 評価における数値は、評価対象事例の各項目に対して、A～Cを評価した外部評価委員数を表している。

2. 評価委員の意見

○産地の目標販売額の達成のため、望ましい新規就農者数の把握と確保に向けた継続的な取組をお願いしたい。

○定植苗の供給は、産地の維持発展にとって大きな役割を果たしており、評価したい。

○新規参入者は、就農当初の経営が不安定な人も少なくないため、今後とも巡回を継続していただきたい。

○「いちご王国」の主産地として、とちあいかのサポートチームによる支援や定植苗基地の取組支援に加え、新規参入者の確保・育成に向けたさらなる取組を期待したい。

○空き施設の利用推進は、新規就農者への支援策として非常に有効と考える。全県でこうした取組を共有するなど今後を期待する。